

【その他のネットワークメンバーからの意見等】

Hさん： 私は、定年帰農で田舎暮らしを求めて帰ってきました。今は、農業委員会を通して三反の田んぼを取得しないと農家になれませんが、自給自足で田舎暮らしをするには、10aか20aもあれば十分なんです。私は今、大石というところに住んでおりますが、司馬遼太郎の小説の中で、長宗我部元親が「桃源郷を見た」と言っているようなところですよ。今はもうそのような姿は見えませんが、65年前には本当に素晴らしい、嶺北一と言える棚田が存在をしていました。そこへ帰ってきて、向かいの棚田が荒れていることに心が痛んで、あえて棚田農園の農村風景、景観の再生と棚田復活、そして環境にやさしい農業に取り組んでいます。

知事さんにも何回か直訴したことがあります。この農村風景、棚田の復活ができれば、中山間地域の産業振興の再生ができるのではと思って、実践しています。百聞は一見にしかず。私の農園を見に来ていただければ、どういことをやろうとしているのかということがわかっていただけたらと思います。

Iさん： 質問ということではないのですが、移住者の方は他にもたくさんいますが、皆さん本当に熱い思いでがんばっています。地元の方々も空き家をお世話したりとかされている方がたくさんいらっしゃいます。大豊町なんか範囲が広いので、各地域ごとにそれぞれ頑張っている人がいっぱいいらっしゃるの、その方達とのネットワークをつなげて情報交換をしながら一緒に大豊町、嶺北地域を盛り上げていけたらいいと思っていますので、よろしくをお願いします。

Jさん： 先ほどから皆さん、ネットでの情報発信の大切さというお話をされていましたが、今、高知県では市町村紹介ムービーというものをインターネットで公開して、本山町の紹介ムービーも公開されています。それがとてもひどいです。とても大切に重要な事業だと思いますので、せめて一番この町が魅力的に映る時期に、天気が悪ければ天気のいい日に取り直すとか、水の少ないような時には水の多い日のVTRを入れるとか、もう少し良くできないでしょうか。

知事： DVDをつくる期間というのがあって、その期間がたまたま魅力的に映らない時期にぶつかってしまったからということなのですが、ネガティブメッセージを発することになっていけないので、ちょっと考えてみます。

Iさんがおっしゃったことは、もうそのとおりですよ、ネットワークをいかに広げていくか。行政のネットワークと皆様方のネットワークの密接なネットワークを作らせていただきます。それに向けて今回を第一歩にさせていただけたらと思っています。

それから、Hさんのお話で、棚田の復活。選挙のときにおうかがいさせていただ

きましたが、棚田をみた時、「すごいな」と思ったのが忘れられません。確かに財産ですよ。

どうかたちでやっていくか、棚田の復活に取り組んでいくにはかなり大規模な仕組みが必要だと思うんです。できるだけ多くの方を巻き込んで、市町村等の協力のもとで一緒にやっていけるようになれば一番いいと思います。(地域産業) 振興監もおりますので、引き続き相談させてください。方向は仰るとおりだと思いますので、次はどうやって周りの人を巻き込んでいくかということだと思います。またご指導ください。